

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

技術部門		部門
選択科目		
専門とする事項		

問題番号	II-2-地域公共交通
------	-------------

← 解答する問題番号（1又は2）を点線の枠内に必ず記入すること。
○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1. 調査、検討すべき事項とその内容

(1) 都市の現状調査

国勢調査等から、人口や世帯構成、年齢の偏在状況などを把握する①。自治体の都市計画基礎情報等から、地理状況や都市の立地状況を確認する②。

- ① 地方都市全体なのか、対象地区なのか調査対象範囲がよく分かりません。
- ② 都市の立地状況とは何を指しているのでしょうか。また、問題には「小規模な土地区画整理事業の特徴に留意し」とありますので、この事業実施においてなぜこの調査なのかもよく分かりません。事業の特徴に留意するのであれば、事業の目的は敷地の集約化や共同化なのですから、都市計画基礎調査のデータを調査するのであれば、土地利用状況や都市施設等を把握すべきと考えます。

(2) 上位・関連計画の調査

自治体の総合計画や都市マスタープランから、都市の目指す方針を把握する。また、立地適正化計画等の関連計画から、市街地整備に関する施策を確認する③。実施済みの施策については、成果をとりまとめ、実施に至らなかった施策については、その要因を抽出し、課題を抽出する④。

- ③ 立地適正化計画なのですから、市街地整備というより都市機能の誘導方針などを確認するのではありませんか。
- ④ 表現が課題抽出になっています。問われていることは、調査・検討事項のどちらかです。例えば、立地的化計画の内容を調査し誘導すべき都市機能を確認するとともに、本事業で当該都市機能を誘導できるか検討するといった具合になるのではないのでしょうか。

(3) 権利関係の把握

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

事業の対象となりうるエリアにおける、空き家や空き地等の権利者を確認する。また、住宅部局において空き家バンクが構築されている場合は、持ち主等を把握する。さらに、登記情報等から、所有者不明土地の有無を確認し、権利関係の把握を行う⑤。

⑤ 手段が具体的になっていますが、最初の文と同じ内容が繰り返し述べられています。区画整理ですから、権利関係とともに地権者意向の把握が必要ではないでしょうか。

2. 業務を進める手順と留意点、工夫点

① 課題の整理

前述の調査結果を基に、課題を整理⑥する。整理にあたっては、地図上に課題点をプロットする等の見えるかを行い、議論がしやすくなるよう工夫する⑦。

⑥ ここでいう課題とは、地域の課題ですか、区画整理を進める上での課題ですか。

⑦ 誰と誰が何を議論するのですか。これが分からないと見える化の必要性が理解できません。

② 目指すべき都市の方針の検討

整理された課題及び上位・関連計画を踏まえ、目指すべき都市の方針⑧を設定する。

⑧ 区画整理の計画で都市の方針は大々的すぎます。都市の方針は、都市マスなどの上位計画に示されるものです。本事業で定めるべき方針は、公共施設整備方針、移転に関する方針、必要に応じて誘導施設の方針などが考えられます。

③ 対象区域の設定⑨

都市⑩区画整理事業の対象となる区域を設定する。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

設定にあたっては、既存の道路や都市施設の立地状況に⑩考慮し、機能⑪が損なわれないよう留意する。

- ⑨ エリアが決まらないと⑧で指摘した事業方針は決められないと思います。よって、方針の前にエリア設定が来るのではないのでしょうか。
- ⑩ →「土地」
- ⑪ →「を」
- ⑫ 区画整理を行ってよくなる公共機能はあると思いますが、失われる機能とはいったいどのような機能でしょうか。

④ 施策の立案及び実施主体の設定

前述に設定した都市像⑬を基に、土地区画整理事業の手法や実施主体を設定する⑭。敷地整序型土地区画整理事業⑮等、様々な手法を柔軟に組み合わせることで公共減歩の縮減や柔軟な地区界を設定する等の工夫を行う⑯。また、民間事業者による開発の機運が高まっている場合には、一体的な整備を検討する等、地域の実情に寄り添った⑰事業となるよう工夫する。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

- ⑬ 前述では、都市像を設定していない（都市の方針）ですし、都市の方針も⑧のとおり設定することに疑義があります。
- ⑭ 小規模な土地区画整理には、敷地整序型土地区画整理事業や任意の申出換地による集約といった手法があり、さらに支援制度も様々です。よって、調査検討事項には、これらの検討を記述すべきだと思います。
- ⑮ 組み合わせの例示になっていないと思います。
- ⑯ 手法を組み合わせることで、なぜ減歩が小さくなったり、柔軟な地区界が設定（←これ自体も何がしたいのか分かりません）できたりするのか分かりません。。
- ⑰ →「合わせた」

⑤ 達成状況の評価資料の設定及びスケジュールの設定
土地区画整理事業の実施による達成状況の設定⑱や
実施に至るまでのスケジュールを設定する。達成状況
の設定にあたっては、アウトプット指標だけでなく、
交通量等のアウトカム指標も設ける等の工夫を行う。

- ⑱ 事業の目的は、敷地の集約再編ですから、区画整理が完了すれば達成できるのではありませんか。
区画整理によって地域課題を解決するのであれば、そのことについて述べないと何を達成したいのか分かりません。

3 . 調整方策

関係者との調整は、客観的な情報に基づき実施する。
小規模な土地区画整理事業では、都市計画決定を必要
としないことから、住民に対しては、ヒアリングやア
ンケート、WSを通じて意見交換を行う等、きめ細や
かな対話の場を設ける等し、調整する⑲。以上

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

⑱ 「等」は「意見交換を行う等」すでに用いているので不要だと思います。→「設け調整する」